

令和4年度 北信越ジュニア柔道体重別選手権大会

兼 JOC ジュニアオリンピックカップ 2022年度 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会予選会

開 催 要 項

- 1 主 催 北信越柔道連盟
- 2 主 管 石川県柔道連盟
- 3 日 時 令和4年7月10日(日) 9:30 開会式
- 4 会 場 石川県立武道館 金沢市小坂町西8-3 ☎076-251-5721
- 5 参加選手 (1)下記体重区分による男女7階級
男子:①60 kg級 ②66 kg級 ③73 kg級 ④81 kg級 ⑤90 kg級 ⑥100 kg級 ⑦100 kg超級
女子:①48 kg級 ②52 kg級 ③57 kg級 ④63 kg級 ⑤70 kg級 ⑥ 78 kg級 ⑦ 78 kg超級
(2)参加選手数は各県各階級1名、計14名とする。
(3)選手は日本国籍を有し、全日本柔道連盟に登録している者。
(4)選手は平成14(2002)年1月1日以降、平成19(2007)年12月31日以前の出生者。
※2022年中に15歳~20歳になる者。
(5)地区予選の出場は、全柔連登録を行った県からのみとする。
(6)全日本柔道連盟柔道衣規格に適合する柔道衣を使用すること。柔道衣は白色を使用する。
(7)選手は背部に下記の要領でゼッケンを縫い付けること。
ア 布地は白色(晒、太綾)とする。
イ サイズは横30cm~35cm、縦25cm~30cmとする。
ウ 苗字(姓)は上側2/3、所属名は下側1/3にゴシックまたは楷書で記載する。
エ 縫い付けの場合は、後襟から5~10cm下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける。

○ ○
○○高校
- 6 試合方法 (1)国際柔道連盟試合審判規定で行う。
(2)試合時間は4分間とし、優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上、得点差がない場合は時間無制限の延長戦(ゴールデンスコア方式)により勝敗を決する。
(3)柔道衣の乱れに対する罰則(指導)を適用する。
(4)試合は各階級各県1名、計5名のトーナメント戦により行う。
(5)2位決定の敗者復活戦を実施する。
- 7 表 彰 各階級1位、2位の選手を表彰する。
- 8 上位大会 (1)各階級1位の選手を地区代表として、全日本ジュニア柔道体重別選手権大会へ推薦する。
(2)2位選手を補欠とする。
- 9 参加申込 各県ごと別添申込書により、下記2ヵ所宛に6月20日(月)必着で申し込むこと。
(1)石川県柔道連盟事務局
〒920-0266 河北郡内灘町大根布5-25 本出 正博 ☎090-5682-4878
(2)北信越柔道連盟事務局
〒950-2035 新潟市西区新通1072 日本文理高等学校内 河内 亮 ☎090-8843-4741

※選手変更が生じた場合は大会前日の理事会(13:30)前まで、北信越柔道連盟事務局で受け付ける。

- 10 計 量 令和4年7月9日(土)午後4時～5時まで石川県立武道館で行う。
- 11 前日練習 令和4年7月9日(土)午後1時～5時まで石川県立武道館で行うことができる。
- 12 審判会議 令和4年7月10日(日)午前9時から石川県立武道館 大会議室で行う。
- 13 宿 泊 宿舎については各自で確保すること。
- 14 そ の 他 (1)試合中の負傷については、応急手当のみ行い、その後の責任は一切負わない。
(2)大会は無観客で実施する。
ア 入場出来る者は男女別監督1名・コーチ1名・選手7名・帯同選手7名とする。
イ 選手の引率者は試合場への立ち入りは出来ないが、観客席での観戦は構わない。
(3)新型コロナウイルス感染症の感染者及びそのチームの対応については、2022,05,11付
全柔連発 第 22-0081 号 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応(通知)によるものとする。
(4)大会に参加する選手のPCR検査については義務付けないが、今後の感染状況によっては義務付ける場合もあり得る。
(5)選手は全日本柔道連盟登録証、健康保険証を持参すること。
(6)大会に参加する場合は健康チェック表を各県で取りまとめ事務局へ提出すること。
各県、各個人で新型コロナウイルス感染症対策を行い、感染並びに蔓延防止に取り組むこと。
(7)皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発病の有無を各県の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については迅速に医療機関において適確な治療を受けること。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会に出場出来ない場合もある。
(8)脳震盪対応について、選手及び指導者は次の事項を厳守すること。
ア 大会一ヵ月以内に脳震盪を受傷下者は、脳神経外科の診断を受け出場の許可を得ること。
イ 大会中に脳震盪を受傷した者は、その後の当該大会への出場は認めない。
ウ 上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局に事故報告書を提出すること。